祝 政令指定都市相模原誕生

第44回 教育研究発表大会の報告

ともに見つめ　ともに創る　子どもの未来

猛暑の８月４日（水）、小星敏行相模原副市長をはじめ、市内の教育に携わる１７名のご来賓の方々をお迎えして、「祝政令指定都市・相模原誕生　第４４回相模原市教育研究発表大会」を開催しました。

全体会では、主催者を代表して岡本教育長から「２１世紀を豊かに生きる子ども達の育成をめざし、今日的な教育課題を見据えた上で、その解決に積極的にご努力された成果であり相模原市の教育の発展に大きく寄与するものと期待しております。」と挨拶がありました。

午前中は全体会に引き続き、記念講演会が行われました。午後は各会場に分かれ、１０の分科会においてそれぞれ発表と協議が行われました。

市立小中学校１０９校（小学校７２校・中学校３７校）の先生方をはじめ、大学・高等学校・保育園・幼稚園・市民の方々など、全体会・記念講演会に１，１２１名、分科会に１，３１０名の参加があり、多くの方々の協力のもとに開催することができました。

本市が政令指定都市に移行したことを記念し、より幅広い分野からの発表を行い、これからの「さがみはら教育」を展望した大会となりました。

◇◇◇◇◇◇ 記 念 講 演 会 ◇◇◇◇◇◇

「自然とともに、音とともに・・・」

講師：　**池辺　晋一郎** 氏

作曲家、東京音楽大学教授

映画「剣岳　点の記」音楽監督

第 33 回日本アカデミー賞　最優秀音楽賞受賞

講演会は、講師に 池辺 晋一郎 氏（作曲家）を迎え、「自然とともに、音とともに・・・」というテーマで、様々なジャンルでご活躍されてきたご経験から、貴重なお話を伺いました。グランドピアノをかたわらに、様々なメロディーを奏でながら、ジョークを交えた興味深いお話でした。

池辺氏は「音は生きている」「音自身が行きたい方へ導く」という音の本質についてわかりやすくご紹介くださいました。

また、その本質を見出したのは、小さな頃に電話機を分解して、その不思議さを調べようとした経験が根底にあったのではないかと語られました。

そして、大切なのは、ものごとの本質を見極めようとすること・その本質を実感することではないか、と述べられ、参加者がそれぞれの立場でこの考え方を再認識させられる講演会となりました。

＜「記念講演会」参加者からの感想＞

○趣味で音楽を続けているが、自然と音との関係や作曲について興味深く聞かせて頂いた。また、自分自身が色々なことに関心を持ち感動することが、子ども達にとっても大切だということがわかった。

○池辺先生のお人柄に触れることができ、とても有意義で楽しい時間だった。

○自然の素晴らしさ、音の素晴らしさ…音楽について話して頂き、とても楽しく聞くことができた。

○池辺先生の素敵なピアノ演奏を聴き、感動しながらの講演だった。音について意識してみるきっかけになった。

○“自然体”は、教育にも通ずるものがある。子どもはそれぞれ個性で存在するものだから、無理矢理何かをさせるのではなくて、一人ひとりに合わせた対応を心がけたいと思った。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 分 科 会 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇

１０の分科会、３０本の研究発表

午後は１０会場に分かれ、授業改善や幼保小連携など３０本の研究について、それぞれの分科会で発表と協議が行われました。市内公立小中学校の教職員をはじめ、大学・高等学校・保育園・幼稚園・ＰＴＡ・青少年相談員・市民の方々など、約１,３００名の参加をいただきました。

どの発表も子どもたちの健やかな成長をめざし、今日的な教育課題等に積極的に取り組まれた研究の成果や教育実践の報告でした。また、発表をもとに参加された方々で協議を行い、さまざまな立場の方が交流し合いました。お互いの役割や活動を理解し、連携・協力を深める機会となりました。

発表された方、分科会の運営にあたられた方はもちろん、多くの方々のご協力をいただいたおかげで充実した分科会となりました。

＜「分科会」参加者からの感想＞

○幼稚園･保育園との連携の必要性を感じていた。お話しを伺い、自分がいかに保育園･幼稚園の取組みを知らないかがわかり、改めて連携の大切さを実感した。幼･保･小･中の連携の大切さは子どもの育ちに関わっている職員全てが感じていることのように思う。そういった「うねり」を起こしていく事が必要だと感じた。

○先生方が授業に対してとても熱意を持ち、工夫して臨んでくださっている事がよく分かり安心した。保護者としても、もっと子ども達のことを見つめ気付き、見守っていかなければと感じた。

○新たな実践を聞くことができ、とても勉強になった。何か働きかければ子どもは変わっていくのだなと思った。２学期からの意識が変わった。

○２学期につながる発表であり参考になった。一人ひとりのニーズにあった支援を目標に短期的視点・長期的視点を持って指導を行っていきたい。

○学校全体で健康教育に取り組む事で子どもの笑顔を教職員みんなで喜べる姿勢がすばらしいと思った。

教育実践研究論文

相模原の子どものために、あなたの貴重な教育実践をご紹介ください！

応募資格・・・市内在住・在勤の方
論文枚数・・・Ａ４版、２０字×４０行の 2 段組で、資料を含み６枚以上８枚以下
論文提出最終締切・・・平成 23 年 1 月 11 日

応募方法等詳細については総合学習センター研究研修班までお問い合わせください。
ＴＥＬ（７５６）０２９０
★総合学習センターホームページに、20 年度 21 年度の受賞論文を掲載しています。

論文書き方講座のお知らせ

日　時　平成２２年１１月７日（日）１３：３０～
会　場　総合学習センター　２階　セミナールーム
対　象　市内在住、在勤、在学で高校生以上の方
受講料　５００円（当日会場でお支払いください）
講　師　東京学芸大学　准教授　中澤　智恵　氏
申込み　電話かＥメールで総合学習センターへ
電　話　　０４２－７５６－３４４３
Ｅメール　centerkk@sagamihara-kng.ed.jp